TCU History
[東京都市大学の歴史]

●→東京都市大学（武蔵工業大学）の歴史
●→東横学園女子短期大学の歴史

1929年9月【昭和4年】
●武蔵高等工科学校として創立。（東京府荏原郡大崎町大字谷山）電気・建築・土木の3工学科設置。設立者は及川恒忠、手塚猛昌、西村有作。

1929年12月【昭和4年】
武蔵高等工科学校校長に竹内季一が就任。

1932年9月【昭和7年】
武蔵高等工科学校校地移転。（東京市大森区北千束町）

1934年4月【昭和9年】
機械工学科増設。

1937年2月【昭和12年】
武蔵高等工科学校校長に猪狩亮介が就任。

1938年4月【昭和13年】
財団法人武蔵高等工科学校設立、理事長に西村有作が就任。

1938年12月【昭和13年】
●目黒蒲田電鉄（現在の東京急行電鉄）の総帥であった五島慶太が東横商業女学校設置。（東京市世田谷区玉川等々力町）

1939年12月【昭和14年】
武蔵高等工科学校校地移転。（東京市世田谷区玉川等々力町）

1940年3月【昭和15年】
●財団法人 東横学園設立、理事長に五島慶太が就任。

1942年4月【昭和17年】
実業学校令、専門学校令による武蔵高等工業学校開設、機械、電気・土木・建築の4工学科設置、校長に猪狩亮介が就任。

1944年3月【昭和19年】
武蔵工業専門学校校長に赤野正信が就任。

1945年10月【昭和20年】
武蔵工業専門学校校長に荒川大太郎が就任。

1949年4月【昭和24年】
●学制改革により武蔵工業大学に昇格。工学部機械、電気・建設の3工学科設置、学長に赤野正信が就任。

1952年4月【昭和27年】
武蔵工業大学学長に荒川大太郎が就任。

1952年6月【昭和27年】
学校法人 武蔵工業学園理事長に西村有作が就任。

1953年11月【昭和28年】
●学校法人 東横学園理事長に五島慶太が就任。

1955年3月【昭和30年】
学校法人 武蔵工業大学に学校法人 東横学園を合併し、学校法人 五島育英会に改称認可、理事長に五島慶太が就任。

1955年5月【昭和30年】
武蔵工業大学学長に八木秀次が就任。

1956年4月【昭和31年】
●東横学園女子短期大学開学（東京都世田谷区玉川等々力町）家政科設置。学長に石井鋼次郎が就任。

1957年4月【昭和32年】
工学部電気通信工学科増設、建設工学科を建築工学科、土木工学科に分離。●東横学園女子短期大学家政科栄養士養成施設指定。

1959年1月【昭和34年】
工学部生産機械工学科、経営工学科増設。

1959年10月【昭和34年】
武蔵工業大学創立30周年。

1960年4月【昭和35年】
武蔵工業大学学長に山田良之助が就任。

1961年10月【昭和36年】
原子力研究所開所（神奈川県川崎市王禅寺四ツ田）

1965年4月【昭和40年】
工学部機械工学科と生産機械工学科を合併し、機械工学科として発足。

1966年4月【昭和41年】
大学院工学研究科修士課程機械工学、生産機械工学、電気工学、建築学の4専攻開設。●東横学園女子短期大学国語国文科、英語英文科増設。

1968年4月【昭和43年】
大学院工学研究科博士課程、機械工学、生産機械工学、電気工学、建築学の4専攻開設。

1968年6月【昭和43年】
●東横学園女子短期大学学長に英修道が就任。

1969年4月【昭和44年】
東横学園女子短期大学家政科と家政学専攻と食物栄養学専攻へ専攻分離。

1972年4月【昭和47年】
大学院工学研究科修士課程土木工学専攻を開設。

1978年4月【昭和53年】
武蔵工業大学学長に石川馨が就任。

1979年10月【昭和54年】
武蔵工業大学創立50周年。●情報処理センター開所。

1981年4月【昭和56年】
大学院工学研究科博士課程土木工学専攻開設。修士課程経営工学、原子力工学2専攻開設。

1981年6月【昭和56年】
●東横学園女子短期大学創立25周年。

1986年8月【昭和61年】
●東横学園女子短期大学学長に高島正夫が就任。

1989年9月【平成元年】
武蔵工業大学学長に古浜庄一が就任。

1989年10月【平成元年】
武蔵工業大学創立60周年。

1992年4月【平成4年】
●水素エネルギー研究センター設置。

1997年4月【平成9年】
●環境情報学部開設、環境情報学科設置。（神奈川県横浜市都筑区牛久保西）●工学部機械システム、電子情報、エネルギー基礎工学科増設。
●情報メディアセンター設置。●東横学園女子短期大学国語国文科、英語英文科を統合改組して言語コミュニケーション学科設置。

1998年9月【平成10年】
武蔵工業大学学長に堀川清司が就任。

1998年10月【平成10年】
●日本の大学として初の環境マネジメントシステム《ISO14001》の認証を取得。（環境情報学部）

1999年4月【平成11年】
●エネルギー環境技術開発センター開所。

2000年4月【平成12年】
●東横学園女子短期大学学長に松野道男が就任。●産官学交流センター設立。

2001年4月【平成13年】
大学院環境情報学研究科修士課程環境情報学専攻開設。

2002年4月【平成14年】
環境情報学部情報メディア学科増設。生涯学習センター設立。

2003年4月【平成15年】
●東横学園女子短期大学学長に海老原大樹が就任。●大学院工学研究科博士課程エネルギー量子工学専攻開設。

2003年5月【平成15年】
原子力研究所原子炉の廃炉が決定。

2004年4月【平成16年】
総合研究所開所。

2004年5月【平成16年】
●東横学園女子短期大学保育学科設置、保育分野の短期大学で国内初の昼間部3年制保育系学科。

2004年6月【平成16年】
●東横学園女子短期大学 子育て支援センター「ぴっぴ」開設。

2004年9月【平成16年】
武蔵工業大学学長に中村英夫が就任。

2004年10月【平成16年】
●武蔵工業大学創立75周年。●新9号館（図書館）完成。

2005年4月【平成17年】
大学院環境情報学研究科博士後期課程環境情報学専攻開設。

2006年4月【平成18年】
●東横学園女子短期大学学長に堀大樹が就任。●大学院工学研究科博士前期課程・博士後期課程システム情報工学専攻開設。

2007年4月【平成19年】
東横学園女子短期大学学長に中村英夫が就任。

2007年12月【平成19年】
工学部生体医工学科増設。●知識工学部開設、情報科学科、情報ネットワーク工学科、応用情報工学科設置。

2008年3月【平成20年】
室蘭工業大学と包括連携協定を締結。●東横学園女子短期大学学生募集停止。

2008年4月【平成20年】
多摩美術大学、昭和大学と包括連携協定を締結。

2009年4月【平成21年】
工学部原子力安全工学科増設。
●武蔵工業大学と東横学園女子短期大学が統合し東京都市大学と改称。
都市生活学部開設都市生活学科設置、人間科学部開設児童学科設置、知識工学部自然科学科設置。●水素燃料エンジン搭載バスによる国内初の公道走行。
大学院工学研究科博士前期課程・博士後期課程電気電子工学専攻、生体医工学専攻、情報工学専攻開設。●早稲田大学と包括連携協定を締結。

2009年7月【平成21年】
東京大学生産技術研究所と学術連携を締結。

2010年3月【平成22年】
●東横学園女子短期大学開学、54年の歴史（卒業生2万7千3百名余）を閉じる。

2010年4月【平成22年】
東京都市大学女性研究者支援室（SOFERS：ソファーズ）設置。
●大学院工学研究科前期博士課程・博士後期課程エネルギー化学専攻開設。●大学院工学研究科前期博士課程・博士後期課程共同原子力専攻を早稲田大学と共同で開設。
東京都市大学渋谷テラスライトクラス開設。（東京都渋谷区道玄坂）

2010年6月【平成22年】
東京都市大学 総合グラウンド開所。（東京都世田谷区鎌田）

2012年4月【平成24年】
共通教育部設置。

2013年4月【平成25年】
●環境学部開設、環境創生学科、環境マネジメント学科設置。メディア情報学部開設、社会メディア学科、情報システム学科設置。●大学院環境情報学研究科修士課程都市生活学専攻増設。

2013年9月【平成25年】
●東京都市大学学長に北澤宏が就任。

武蔵高等工科学校 五反田時代の仮校舎（昭和4年）

入学式当日の東横商業女学校正門（昭和14年）

東横学園女子短大校舎

世田谷キャンパス 昭和20年代の校舎全景

原子力研究所（王禅寺キャンパス）
トリガII型原子炉の設置工事

横浜キャンパス全景

ISO14001登録証

子育て支援センター「ぴっぴ」

世田谷キャンパス
体育館［写真左］
図書館［写真右］

水素燃料エンジンバスの
開発は東京都市大学、
ラッピングデザインは
多摩美術大学。